

世界基準の
プレス技術の進化が
ここに。



JAPAN METAL STAMPING TECHNOLOGY EXHIBITION

金属プレス加工技術展 名古屋

■主催／一般社団法人日本金属プレス工業協会

2018年6月13日(水) → 16日(土) 10:00 → 17:00
※ただし最終日は16:00まで

ポートメッセなごや 〒455-0848 名古屋市港区金城ふ頭2-2 <http://intermold.jp>

併催展

JAPAN INTERNATIONAL DIE & MOLD MANUFACTURING TECHNOLOGY EXHIBITION

INTERMOLD 名古屋

金型展名古屋

■主催／一般社団法人日本金型工業会

世界基準のものづくり



JAPAN METAL STAMPING TECHNOLOGY EXHIBITION

ついに名古屋で開催!

金属プレス加工技術展 名古屋

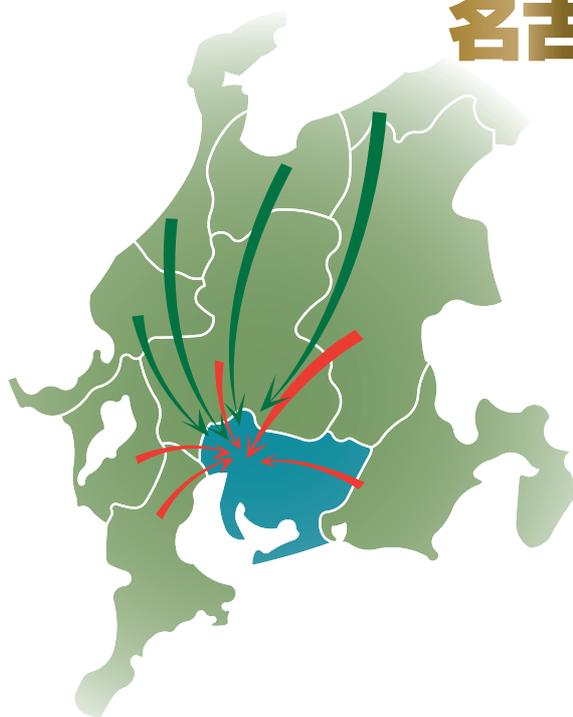
プレス加工に関する最新技術、設備情報を発信。
素形材産業の専門見本市としてプロフェッショナルの集う
『金属プレス加工技術展』に是非ご参加ください。

日本のものづくりの中心地 「自動車産業の集積地」での開催

完成車・自動車部品をはじめとし、大手メーカーからティア
1~3の中小企業など、素形材産業の集積地でもある中京
圏（愛知・岐阜・三重）に加えて周辺地域（静岡・長野・滋賀・
新潟・富山・石川・福井）からの来場動員を見込めるため、【中
部ものづくり業界】関係者が集うビジネスショーとしての発
展が期待できます。

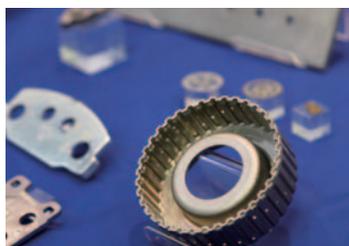
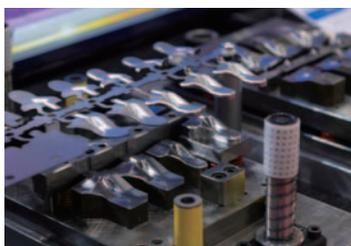
国際市場での競争力強化を語るうえで、高性能、高品質を
実現させるものづくり基盤技術『金型・金属プレス』技術
の高度化が必要不可欠です。

高機能部品・部材の量産技術に注目した専門見本市として
開催します。



主な出展物

- プレス加工機
（サーボプレス、機械プレス、油圧プレス、トランスファープレス、
ファインブランキング、深絞りプレス、粉末成形プレス、
冷・温・熱間鍛造プレスなど）
- 周辺機器
（トランスファースystem、アンコイラー、レベラー、フィーダー、
安全装置、その他関連機器）
- ロボット・自動化システム
- プレス金型・プレス金型部品
- 各種金属プレス加工品・
成形サンプル
- プレス加工事業者による技術PR



日本の製造業を支えるサポートインダストリー [ものづくり基盤技術] として欠かすことのできない金型と金属プレスを中心に、最先端の素形材産業の情報を発信します。
 毎年 400 社以上の出展企業と 45,000 人を超える来場者が集うビジネスショーの開催実績を活かしてついに名古屋で開催いたします。



金型・金属プレス企業の競争力強化ソリューションを提案 中小企業への効果的、実用的、具体的な設備提案

- ハイテン材、アルミ合金材などの難加工技術の導入
- CFRP / 樹脂部品との複合加工・一体成形
- 高機能部品・自動車・航空機部品の軽量化
- 異業種・異分野への展開
- ロボット技術による自動化
- 海外市場への展開・進出の支援
- 人材育成・事業継承・産学連携



専門見本市と α の提案

INTERMOLD / 金型展を併催

30年の歴史をもつ国内唯一の金型加工技術の専門見本市「INTERMOLD / 金型展」との同時開催により、金型の製造から成形 [プレス加工] の一貫したソリューションを提案します。

基調講演・特別講演・各種セミナーの開催

大手メーカー、ティア1などの経営者、役員による講演会や、各業界の協力団体による講演、セミナーなどを併催し、従来にはないあたらしい層の来場者を集客することで、出展企業へ新規顧客とのマッチングの場を提供します。

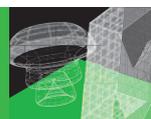
素形材関連・各種業界団体とのコラボレーション

(一社) 型技術協会
 (一社) 日本鍛造協会
 (一社) 日本自動車部品工業会
 まんてんプロジェクト (航空宇宙産業参入支援プロジェクト) 他

JAPAN INTERNATIONAL DIE & MOLD MANUFACTURING TECHNOLOGY EXHIBITION
INTERMOLD 名古屋
金型展 名古屋



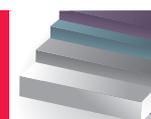
試作・デザイン・解析
 & 3Dプリンティングフェア



精密仕上げ加工 &
 バリ取り・研磨加工技術フェア



熱処理・表面処理
 フェア



自動車部品
 製造技術フェア



航空機部品
 製造技術フェア



2017年 開催実績 (東京)

開催データ

開催概要

※下記概要データは同時開催3展を合計

名称	金属プレス加工技術展2017
併催	INTERMOLD 2017(第28回 金型加工技術展) 金型展2017
会期	2017年4月12日(水)~15日(土) 10:00~17:00(最終日は~16:00)
会場	東京ビッグサイト 東5ホール・東6ホール(〒135-0063 東京都江東区有明3-10-1)
出展規模	461社・団体 891小間
来場者数	45,937人



出展状況

金型・金型材・金型部品等(333社)
 工作機械(93社)
 工作機械用付属機器など(44社)
 切削工具(69社)
 機械工具・研磨・砥石関連(65社)
 金属加工関連機器(63社)
 各種油剤・ケミカル製品など(28社)
 プレス加工機(42社)

プレス加工機用周辺機器(30社)
 プラスチック加工機械・関連機器(18社)
 精密測定機器・光学測定機器(80社)
 CAD/CAM/CAEシステムなど(55社)
 試作・モデリング・3Dプリンター関連(24社)
 精密部品加工技術(230社)
 各種団体・研究機関など(13社)
 ロボット・自動化(25社)
 図書・文献・資料(10社)

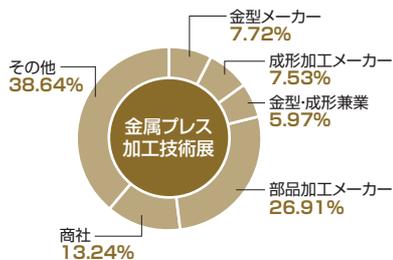


来場者数

■ 金属プレス加工技術展 5,993人
 ■ インターモールド 31,490人
 ■ 金型展 7,509人
 ■ VIP 945人

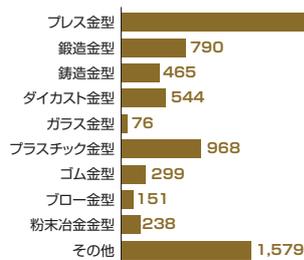
来場者業種分類

※各項目の「比率」は小数点第二位までを表示



分野属性①

※下記数字は回答数を表示 ※複数回答有り



分野属性②

※下記数字は回答数を表示 ※複数回答有り



会場レイアウト / 東京ビッグサイト(2017年)



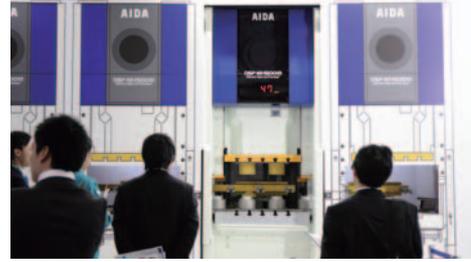
2016年 開催実績(大阪)

開催データ

開催概要

※下記概要データは同時開催3展を合計

名称	金属プレス加工技術展2016
併催	INTERMOLD 2016(第27回 金型加工技術展) 金型展2016
会期	2016年4月20日(水)~23日(土) 10:00~17:00(最終日は~16:00)
会場	インテックス大阪(〒559-0034大阪府住之江区南港北1-5-102)
出展規模	440社・団体 906小間
来場者数	47,756人



出展状況

金型・金型材・金型部品等(311社)
工作機械(110社)
工作機械用付属機器など(44社)
切削工具(60社)
機械工具・研磨・砥石関連(77社)
金属加工関連機器(58社)
各種油剤・ケミカル製品など(40社)
プレス加工機(14社)

プレス加工機用周辺機器(30社)
プラスチック加工機械・関連機器(18社)
精密測定機器・光学測定器(73社)
CAD/CAM/CAEシステムなど(44社)
試作・モデリング・3Dプリンター関連(24社)
精密部品加工技術(233社)
各種団体・研究機関など(17社)
ロボット・自動化(15社)
図書・文献・資料(9社)

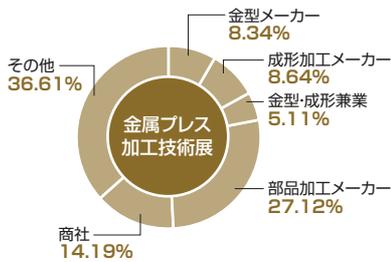


来場者数

■ 金属プレス加工技術展 7,653人
■ インターモールド 31,686人
■ 金型展 8,417人

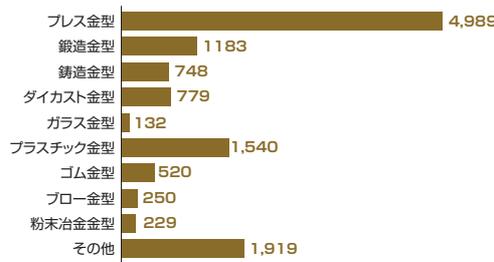
来場者業種分類

※各項目の「比率」は小数点第二位までを表示



分野属性①

※下記数字は回答数を表示 ※複数回答有り



分野属性②

※下記数字は回答数を表示 ※複数回答有り



会場レイアウト/インテックス大阪(2016年)



開催概要 / 出展料金 / 申込方法

開催概要

名称	金属プレス加工技術展 名古屋
会期	2018年6月13日(水)～16日(土) 10:00～17:00 ※最終日は16:00まで
会場	ポートメッセなごや(〒455-0848 名古屋市港区金城ふ頭2-2)
主催	一般社団法人日本金属プレス工業協会
運営	インターモールド振興会(テレビ大阪エクスプロ内)
公式サイト	http://intermold.jp
同時開催	INTERMOLD 名古屋 / 金型展 名古屋(主催: 一般社団法人日本金型工業会)
予想来場者数	50,000人(同時開催展を含む)
入場料	1,000円(招待券持参者および事前来場登録者は無料)
後援	経済産業省、外務省、愛知県、名古屋市、独立行政法人日本貿易振興機構、名古屋商工会議所、日本経済新聞社(順不同/申請予定)
協賛	一般社団法人日本工作機械工業会、一般社団法人日本鍛圧機械工業会、日本工作機械輸入協会、一般社団法人日本金属プレス工業協会、日本精密機械工業会、日本機械工具工業会、一般社団法人日本鍛造協会、一般社団法人日本工作機器工業会、日本精密測定機器工業会、日本光学測定機工業会、ダイヤモンド工業協会、一般社団法人型技術協会、日本プラスチック機械工業会、一般社団法人日本ダイカスト協会、一般社団法人日本塑性加工学会、一般社団法人日本機械学会、公益社団法人精密工学会、一般社団法人日本自動車部品工業会(順不同/申請予定)

出展規程

出展料金

種別	Aタイプ	Bタイプ
一般	350,000円 (出展料金)+消費税	420,000円 (出展料金)+消費税
会員	330,000円 (出展料金)+消費税	400,000円 (出展料金)+消費税

※会員価格は一般社団法人日本金属プレス工業協会正会員のみ適用

角小間指定料

50,000円+消費税(1・2小間の申込者のみ対象)

出展料金の割引

※2つの割引制度を併用することは出来ません。

早期割引	30,000円/小間 2017年11月30日(木)までに申込手続きを完了した場合。
大阪出展者割引	30,000円/小間 INTERMOLD2018 / 金型展2018 / 金属プレス加工技術展2018(大阪)に出展申込をしている場合。 上記展示会の出展申込小間数に乗じる。

小間仕様

サイズ/間口約3m×奥行約3m×高さ2.7m(約9m²)

単列または複列を選択(複列は4小間以上の出展に限ります)

小間設備内容

Aタイプ(スペースのみ)

小間仕切りのパネルなどは一切装備されません。

Bタイプ(基本装備・設備付き)

ユニット・システムブースによる基本装備に電気設備と備品が装備されます。



Bタイプ設備内容(1小間あたり)

- 後壁(バック)、側壁(間仕切り)、バラベット、カーベット
- 社名文字(青色/角ゴシック体/15文字以内)
- 受付カウンター(1台)
- パイプイス(1脚)
- スポットライト(2灯)
- 蛍光灯(2灯)
- コンセント(300W/1個)
- 上記電気設備に関する幹線工事費用

※電気使用料金は別途出展者の負担となります。<参考>: 前回開催時電気使用料: 1kwあたり2,000円(税別) >
※社名板、受付カウンター、パイプイスは小間数にかかわらず1台(脚)のみ装備されます。
※角小間の場合は通路に面する側壁は設置されません。

申込方法

1 下記「出展申込みサイト」より出展規程をご了承の上、お申込みください。

➡ <https://www.intermold.jp/application/>

※出展申込み受付は、2017年6月1日(木)より開始。
なお、初めて出展する場合は、会社案内および出展製品のカタログを必ず提出してください。
出展申込みは、インターネットを通しての申込みとなります。
インターネット環境をお持ちでない場合は、事務局までお問い合わせください。

2 出展申込みサイトで主な出展規程を確認いただけますので、内容を確認・ご承諾のうえ、お申し込みください。また、出展申込書を郵送される場合は、必ず控えを出展者にて保管してください。

3 出展内容が本展開催趣旨・目的に沿わない場合は、出展受付を保留またはお断りすることがありますのでご了承ください。
詳細は事務局までお問い合わせください。

4 出展申込数は1小間を単位とします。2小間以上の小間を申し込む場合、AタイプとBタイプを混在して申し込むことはできません。

5 申込出展者以外に共同出展する企業を表記する場合は、出展申込み後にご案内する「出展者専用ページ(Web)」にて共同出展者名をご登録ください。

申込締切日

2018年 1月31日(水)

※ただし、満小間になり次第締切となります。

支払期日

請求書発行日の翌月末

- 出展申込み手続き完了後、事務局が受理し、請求書を発行いたします。
- 出展申込み手続き完了後、事務局受理日以降の出展申込みの取消は出来ません。

※事務局からの請求により、出展料金を指定の銀行口座にお振込みいただけます。

出展対象

<p>■工作機械</p> <p>マシニングセンター、ターニングセンター、ドリリングセンター、各種研削盤、各種立削り盤、各種フライス盤、各種放電加工機、各種仕上げ機、各種複合加工機、各種旋盤、各種ボール盤、各種くり盤、モジュラユニット・専用機、自動組立機、特殊加工機械(レーザー加工機・電解加工機など)、金型自動磨き装置、その他</p> <p>■工作機器</p> <p>工作物保持具、工具保持具、付属品、部分品、付属機械(位置決めテーブル、切削処理装置、給油潤滑装置)、その他</p>	<p>■特殊鋼工具・超硬工具・ダイヤモンド工具</p> <p>工具材料、高速度鋼工具、超硬工具、ダイヤモンド及びCBN工具、サーメット工具、セラミック工具、その他機械工具</p> <p>■研削砥石・研磨材</p> <p>■精密測定器・光学測定機・試験器</p> <p>ノギス、マイクロメーター、ダイヤルゲージ、ブロックゲージ、ゲージ、三次元測定機器、形状・あらし測定機器、自動精密測定機器、投影機、金属顕微鏡、試験機器、その他</p> <p>■プレス機械</p> <p>サーボプレス、液圧プレス、機械プレス、</p>	<p>ハンデイングマシン、剪断機、鍛造機・装置、線材加工機、各種塑性加工機、その他</p> <p>■プラスチック加工機械</p> <p>各種射出成形機、真空成形機、ブロー成形機、真空成型機、圧縮成形機、熱成形機、発砲成形機、押出機、押出成形装置、遠心成形装置、その他</p> <p>■プラスチック加工機械周辺機器</p> <p>および原材料・副資材など</p> <p>成形機械部品・付属装置、試験機・測定機、計器・コントローラ、二次加工機器、ロボット(取出機・インサート装置など)、原材料・副資材、成形サンプル(製品・半製品)、その他</p>	<p>■機械系・金型用 CAD/CAM/CAEシステム</p> <p>■造形システム(ラピッドプロトタイプングシステム)</p> <p>■試作・モデリング関連</p> <p>■FA関連機器・装置、NC装置、自動プログラミング装置</p> <p>■生産管理システム</p> <p>■各種金型</p> <p>プレス用、鍛造用、粉末冶金用、鋳造用、ダイカスト用、プラスチック用、ゴム用、ガラス用、窯業用など</p> <p>●成形サンプル</p> <p>●試作金型</p>	<p>●各種研究機関・工業会・組合など</p> <p>■金型材、金型部品、金型加工システム、金型表面処理、その他関連製品</p> <p>■金型周辺機器</p> <p>金型温度調節機、金型自動交換装置、金型内ガス抜き装置、金型反転機、金型冷却装置、ホットランナ装置、モールドベース、金型監視装置、金型補修機器、その他</p> <p>■金型メンテナンス関連</p> <p>■図書・文献・資料</p>
---	--	---	--	---

テクニカル・ワークショップ／オープンセミナー開催のご案内

プレゼンテーションセミナー(有料)

出展者の展示効果を高めるために、「出展者による新技術発表」「新製品PR」「ユーザーによる製品活用事例の紹介」など、様々な用途に応じて活用できるセミナースペース(有料)を設置します。開講を予定もしくは検討される出展者は、出展申込の際にセミナー開講希望欄にご記入ください。なお、開講希望の出展者には、改めて開講申込書をご提出いただけます。



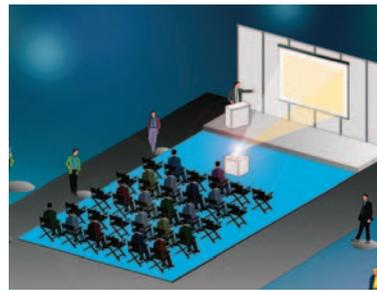
テクニカル・ワークショップ

事前登録制、クローズド、オープン形式など、出展者が目的に応じて運営できるプレゼンテーションセミナーです。製品・技術のPRセミナーとしてだけでなく、「ユーザー会」「新製品発表会」のほか、有料セミナー会場として利用することができます。

会場 ポートメッセなごや 会議室または会場内特設会場
定員 50~100名程度 ※スクール形式 **開講料** 1時間/60,000円(税別)

プログラム (予定) ①11:00~12:00 ②12:30~13:30 ③14:00~15:00
 ④15:30~16:30

※プログラムは、事務局にて調整します。



オープンセミナー

展示ホール内に、オープン形式のセミナー会場を設けます。来場者は展示ブースを移動する間に、興味のあるセミナーを自由に聴講できます。新規顧客に対して、新製品・新技術のPRが可能となり、自社ブースへ誘導するチャンスにもなりますので、展示との相乗効果に期待できます。

会場 ポートメッセなごや 展示場内特設会場
定員 約30名 (座席設置数。但し、立ち見も可能です) **開講料** 45分/50,000円(税別)

プログラム (予定) ①10:30~11:15 ②11:30~12:15 ③12:30~13:15
 ④13:30~14:15 ⑤14:30~15:15 ⑥15:30~16:15

時間延長は出来ません。

※複数のセッションを開講することも可能です。(複数開講値引き有り)
 ※プログラムは、事務局にて調整します。

テクニカル・ワークショップ [2017東京開講実績]

株式会社牧野ライズ製作所

- ①「アジアのユーザーによる放電加工自動化成功例①」
- ②「アジアのユーザーによる放電加工自動化成功例②」

三菱重工工作機械株式会社

「金型加工ソリューション」
 先端生産システム開発センター
 高付加価値機械グループ長 佐藤 欣且 氏

ユニオン ツール株式会社

「大幅改良されたCBNシリーズ、超硬加工用UDCのハイグレードモデルFシリーズ等、最新工具のご紹介」
 工具技術部 エンドミル工具開発課 課長 渡邊 英人 氏

三菱日立ツール株式会社

「Hi-Pre2を実現するための最新工具」
 ソリューションセンター 成田分室長 井上 洋明 氏

ダイジェット工業株式会社

「難削熱間工具鋼の高効率加工」
 技術部 切削工具開発課 早水 拓也 氏

三菱電機株式会社

「三菱電機ワイヤ放電加工機の最新技術と加工事例／エンジニアリングチェーンを最適化するe-F@ctory」
 放電製造部 開発設計第一課・第二課

株式会社アマダマシンツール

- ①「高比強度材に対応するサーボプレスの活用技術紹介」
 プレス商品部プレス販売技術GR メンバー 山本 一 氏
- ②「高効率研削加工の最新テクノロジーと加工事例のご紹介」
 研削商品部研削実証加工GR グループリーダー 三谷 知範 氏

ブルーム・ノボテスト株式会社

「生産設備機での机上計測について」
 技術・サービス プロダクトマネージャー 森本 靖久 氏

日進工具株式会社

「高精度加工を実現する小径エンドミルの使い方」
 開発部 研究開発課 課長 遠藤 孝政 氏

株式会社C&Gシステムズ

「金型における2D/3Dハイブリッド設計の有効活用」
 商品企画統括部 CAD企画課 課長 板谷 知典 氏

株式会社イワタツール

「切削加工に於ける鏡面加工技術の追及」
 営業技術課 係長 丸山 智大 氏

株式会社エムアイモルデ

「高硬度材、穴あけによる金型製作工程短縮とPCD、CBN、小径工具について」
 代表取締役 岩田 昌尚 氏

特別企画

中小企業経営者セミナー

～主役は中小企業だ!次世代ものづくりへの課題～

第1部

講演1「小さな金型メーカーが挑む、事業転換と海外進出と企業連携のススメ」
 株式会社エムアイモルデ 代表取締役 宮城 俊之 氏
 講演2「ものづくりで世界を幸せに!狭山金型の海外展開」
 株式会社狭山金型製作所 代表取締役 大場 治 氏

第2部

講演1「中小企業の事業継続ー承継・再生・M&Aー」
 エムケーカシヤマ株式会社 代表取締役社長 櫻山 剛士 氏
 講演2「[新化]するもの創りとサイベックの経営戦略」
 株式会社サイベックコーポレーション
 代表取締役社長 平林 巧造 氏

オープンセミナー [2017東京開講実績]

中日クラフト株式会社

「レーザ技術によるものづくりイノベーション」
 関東支社 高野 一記 氏

株式会社 IHI Ionbond Japan

「イオンボンドの最新金型向けコーティング技術」
 代表取締役 綾目 吉彦 氏

オートフォームジャパン株式会社

「最新のAutoFormソリューションのご紹介」
 技術サービス部 アプリケーションエンジニア

三菱日立ツール株式会社

「最新工具による金型加工の改善提案事例紹介」
 ソリューションセンター 主任技師 城戸 好信 氏

株式会社J・3D

「金属3Dプリンターを使った金型製作、受託造形サービス」
 関東営業所 部長 高田 真氏

コダマコーポレーション株式会社

- ①「TOPprogressによるプレス金型設計・製作の効率化事例」
- ②「最新CAD/CAMセミナー」
- ③「世界最速金型CAD TopSolid/Moldによるプラスチック金型設計」

日工機材 株式会社

①「～ジェイコア～加工段差ゼロを実現」
 営業部 係長 平信行 氏

②「イトロニクス「世界初フルデジタル彫削放電加工機」のご提案。」
 株式会社イトロニクス 藤本 尚也 氏

株式会社ナノソフト

「順送プレス金型で設計ソフトシミュレーションを効果的に使う方法」
 大町 勝一郎 氏

オートデスク株式会社

「脅威のコストパフォーマンスを実現、金型製作に便利高機能CAD/CAM/CAEパッケージ Fusion 360」
 技術営業本部 製造アカウント
 Fusion 360 テクニカルスペシャリスト 関屋 多門 氏

株式会社ユーロテクノ

「金型用ガイドの及ぼす精度、メンテ性、生産性と設計及び事例紹介」
 主任 中道 浩貴 氏

シンビジョン株式会社

「[現場の実情に合った] 工程管理のご提案」
 ソリューション事業部 マネージャ 地曳 淳 氏

株式会社JSOL

「JSTAMPが実現するプレス加工デジタルエンジニアリング」
 エンジニアリングビジネス事業部

上海佳谷模具有限公司

「自動化加工により中小金型メーカーの変化と発展」
 社長 呉 雪琴 氏

扶桑精工株式会社 岐阜工場

「ブロー成形、その多彩な成形方法」
 営業部長 奥村 秀樹 氏、営業部 片山 菜摘 氏

伊藤忠テクノソリューションズ株式会社

科学システム事業
 「AdvantEdge!による金型加工用NCプログラムの解析および最適化」
 江渡 寿郎 氏

JFE精密株式会社

「JFE精密のPVDコーティング」
 技術部 部長 桜井 雅彦 氏

池上金型工業株式会社

「リバースエンジニアリングサービスの活用術」
 部品カスタマーサービスグループ グループ長 石川 雅也 氏

航空機部品製造技術フェア 特別セミナー

主催:まんでんプロジェクト
 「航空機と航空機産業の特徴」
 公益社団法人日本航空技術協会 シニアコンサルタント
 永末 民樹 氏

「まんでんプロジェクトの航空宇宙分野への取り組みと会員企業の技術力」
 まんでんプロジェクト 専務理事 愛 恭輔 氏

精密仕上げ加工&バリ取り・研磨加工技術フェア 特別セミナー

主催:バリ取り大学 特別協力:(株)ジーベックテクノロジー
 「マシニングセンターでのバリ取り・研磨の自動化」
 バリ取り大学 理事長、
 (株)ジーベックテクノロジー 代表取締役社長 住吉 慶彦 氏

「バリ取り実践公開討論会」

パネリスト:
 アラキエンジニアリング 代表 荒木 弥 氏
 (株)不二製作所 開発部 主任 内海 裕介 氏
 (株)スキママシン 精密機器事業本部 生産統括部
 第一技術部 応用開発課 リーダー 光江 豊彰 氏
 (株)ジーベックテクノロジー 営業部 マネージャー
 赤尾 友和 氏

主な出展規程

1. 出展料金の請求と支払い

事務局が出展申込書の記載事項を確認の後、出展者に出展料金の請求書を送付します。出展者は、請求書記載の期日までに出展料金全額を事務局指定の口座へ振込むものとします(お支払いは銀行振込のみで、手形・小切手・直接現金でのお支払いは受け付けておりません)。なお、出展料金を含め本展示会に関する全ての請求についての振込手数料は出展者が負担するものとします。

2. 出展申込みの受理、成立期日について

出展者が事務局の定める手続きを行い、その出展申込書(申込みシステムの利用、出展申込書の郵送、ファックス、eメールなど)を事務局が受理した時点で申込成立とします。ただし、出展内容が展示会趣旨にそぐわない場合や出展資格を有しないと事務局が判断した場合は出展をお断りする場合があります。

3. 出展申込の取消(キャンセル)

- (1)出展申込の取消または申込内容の変更は原則として認めませんが、やむなく出展の取消もしくは申込内容の変更(出展小間数の一部キャンセルなど)を行う場合には、その理由を明記した文書を事務局に提出し、承諾を得てください。
- (2)やむなく出展の取消もしくは申込内容の変更を行う場合には、その時期に応じて下記の出展取消料をお支払い下さい。なお、下表は事務局が出展者からの取消・変更通知書面を受領した日を基準とします。

書面による取消・変更通知を受領した日	出展取消料
出展申込日～2018年1月31日	出展料金の10%
2018年2月1日～2018年2月14日	出展料金の50%
2018年2月15日～2018年2月28日	出展料金の75%
2018年3月1日以降	出展料金の100%

- (3)出展者が上記相当金額を支払っていないときは、取消通知後、直ちに支払うものとします。出展者が既に支払った金額が上記相当金額を超過している場合は、超過分を事務局より返金します。この場合、振込手数料は出展者の負担とします。
- (4)事務局は、次に該当する場合、出展者に対し、何らの予告無しに出展を取消することができ、また、出展料金全額をお支払いいただきます。この場合、事務局は当該場所を適切な方法で使用することができるものとします。
 - ①2018年2月28日(水)までに出展料金を完納しない場合
 - ②事前申告なしに搬入日の2018年6月12日12時までに小間の使用を開始しない場合
 - ③出展規程および関連規程に記載の事項に違反し、事務局の催告によっても改善が認められない場合

4. 小間位置の決定

- (1)小間の位置は、出展物の内容、申込順位、出展実績、会場全般の構成、実演の有無などを考慮して事務局が行い、後日通知します(予定)。出展者は小間の割当について、苦情や出展取消等を申し出ることできません。
- (2)主催者は、消防法令上または出展者の展示効果向上のために小間図面を変更し、それに伴い小間を再配置することができます。その際、出展者は小間位置変更に関する損害賠償請求はできないものとします。

5. 小間の転貸等の禁止

出展者は、割り当てられた小間の全部または一部を第三者に譲渡・貸与もしくは出展者相互において交換することはできません。

6. 共同出展者の取り扱い

2社以上の会社が共同出展をする場合は、原則として1社が代表して申し込むものとし、出展料金などの各請求をはじめとする事務局からの全ての連絡は、申込者の実務担当者へのみ通知するものとします。なお、共同出展する社名などを申込時に事務局へ通知するものとします。

7. 出展物および展示装飾に関する規制と撤去・搬出

- (1)小間内の出展物および装飾物等が、後日事務局より通知される期限内に撤去・搬出されない場合は、出展者の費用負担で、事務局により撤去・搬出できるものとします。
- (2)いかなる方法でも、近隣の小間の妨げとなる小間の造作はできないものとし、近隣小間の出展者から苦情がでた場合、事務局が展示会運営上の立場から判断し、小間装飾などの変更が必要と判断した場合は、当該小間の出展者はその変更に同意するものとします。この場合に発生する費用は、出展者の負担とします。
- (3)事務局は展示会開催趣旨・目的などの観点から問題があると思われる出展物の展示や装飾に関して規制または撤去する権限を有するものとします。この場合、事務局は出展者に対して輸送・展示費用などの負担や出展料金などの返金について一切の責任を負わないものとします。

8. 出展物の管理と免責

主催者は、出展物の管理・保全について警備員を配置するなど会場全般の管理・保全にあたりますが、出展物への天災、不可抗力、盗難、紛失などあらゆる原因により生じる出展物への損失または損害についてその責任を負わないものとします。出展物、備品の管理は出展者の責任の下、万全を期して行って下さい。

9. 損害賠償

出展者は、出展者自身または出展者指定の業者などの代理人の不注意、その他の理由により、展示会場設備または展示会建造物もしくは人身などに対して与えた一切の損害について責任を負うものとします。出展者は保険へ加入するなど、十分な対策を講じて下さい。

10. 展示会開催の変更・中止

- (1)主催者は、天災、その他の不可抗力により会期・会場を変更、展示規模の縮小、または開催を中止することがあります。主催者は、これによって生じた損害の補償や費用の増加、その他不利な事態に陥るなどに対する責任を負わないものとします。なお、展示会開催を事前に中止した時は、既納出展料金より既発生費用を控除した残額の一部を返金します。
- (2)出展申込みは、変更された会期等について有効とし、会期変更などを理由として出展を取消することはできません。

11. 規程の遵守

出展者は本出展規程をはじめとする主催者が定める諸規程を遵守することに同意のうえ出展申込みをするものとし、この点において将来いかなる時点においても一切の異議を申し立てないこととします。出展者は主催者が定める全ての規程を本展および出展者の利益保護のためのものと解釈し、その実行に協力するものとします。

お問い合わせ

インターモールド振興会

〒540-0008 大阪市中央区大手前1-2-15 (株)テレビ大阪エクスプロ内
 TEL : 06-6944-9911 FAX : 06-6944-9912
 E-mail : infoim2018@tvoe.co.jp